

平成29年度 事業報告

全体事項

社会福祉法の改正では、「公益性・非営利性の徹底」「ガバナンスの強化」「国民に対する説明責任」「積極的な情報開示」「地域社会への貢献」が求められます。特に、社会福祉法人が果たすべき役割である「多様な福祉ニーズへの対応」を積極的に取り組んでいく必要があります。

平成28年度は、入居者・利用者及び家族との信頼を構築すること、地域とのつながりを大切にする事、企業統治、内部統制の構築を図ること、福祉サービスの向上を目指すことの4点について重点的に取り組みました。入居者・利用者の皆様が安心して生活していただけるよう、また、地域の皆様が必要とされる社会福祉法人・介護保険施設となるよう努力していく所存であります。

B 共通事項

(1) 科学的介護の充実を図る（看取り介護の推進・認知症ケアの確立等）

入居者・利用者の皆様により質の高い介護サービスを提供していくため、認知症ケア研修及び施設看取り専門研修に積極的に参加し、職員の育成に取り組みました。

今後は、研修に参加した職員を中心に認知症ケアを確立するための勉強会及び看取りに関する指針をはじめ、同意書等の見直しを行い、見取りについての勉強会を企画し、より良い介護が提供できるよう進めてまいります。

(2) 入居者等が生活しやすい環境整備に取り組む

経年劣化に伴い、建物・設備等の修繕が必要であり、計画に基づき修理等を行いました。夏場の暑さ対策として、トップライトオーニングを設置しました。またトイレや給湯及び空調関連の部品交換を含む修理等は、速やかに対応し入居者・利用者の皆様が快適で生活しやすい環境整備に努めました。

(3) 食事の質の向上

食事は、入居者・利用者の皆様の大きな楽しみです。入居者・利用者及び職員の意見や要望を取り入れ、可能な限り個別に対応する等、食事の提供方法の見直しを行いました。また、職員が情報を共有し、事業所間の連携を図り入居者・利用者の皆様が快適に食事をしていただけるよう努めました。

(4) 地域交流（地域貢献）の推進を図る

栗ヶ谷地域で開催されている「いこいのサロン」に月2回程度、参加し相談等のニーズの把握に努めました。今年度、試行的に行われた興正地域でのサロンへも参加しました。地元の自治会との意見交換の場を持ち、積極的に地域行事等に参加しました。一昨年度より開催している介護料理教室では、調理実習のほか管理栄養士による健康に関するミニ講座等を行いました。地域住民のニーズに応え、市の配食サービスの対象外で、食事に困られている方に対し、新たに独自の配食サービス（昼食・夕食）を始めました。

また、京都地域福祉創生事業（わかプロジェクト）に参画し、子どもの居場所づくり（なかよしひろば）の周知、運営、今後のあり方等について関係機関との会議を持ち、準備を進めました。

(5) 法人全体の危機管理能力の向上に努める

感染症対策委員会において、感染症マニュアルの見直し及び備品の補充等を行いました。インフルエンザ、ノロウィルス等の感染予防対策としてマスク着用、手指消毒については職員のみならず、面会者への周知も行いました。また、看護職員による感染症についての基礎知識などの勉強会を実施し、感染予防に努めました。

(6) 介護人材の確保と育成を図る

新規採用職員については、法人職員としての心構え、介護サービスについての知識や業務等について育成担当者を決め、研修計画に基づいて約1ヶ月間の研修を行いました。その後は、職員の習熟度合いにより業務の組み立てを行いました。各階層の職員は、研修計画に基づき外部研修に参加すると共に、外部講師による役職研修や全職員を対象とした「職場環境改善研修」を部署ごとに実施し、職員自身がやりがいを感じ、前向きな姿勢で仕事に取り組めるよう努めました。また、産業医による講話や応募形式の事例研究発表会を実施しました。事例研究発表会では、参加職員の投票による優秀事例の表彰をしました。

(7) 各制度改正への対応を図る

平成29年度から介護予防通所介護は、地域支援事業に移行されるため、八幡市及び地域包括支援センター等と連携し、地域の皆様が望むサービスを適正に実施できるよう会議等に参加し、平成29年度から高齢者の居場所作りを目的とした通所介護事業を展開していくこととしました。それに伴い、隣接する土地の活用についても、地域に求められるサービスの実施に向けて検討していきます。

社会福祉法の改正により経営組織の見直し等が必要となりますので、改正についてのセミナー等に参加し情報収集に努め、定款変更や次期評議員の選任など新制度に対応できるよう準備を進めました。

役員会等の状況

① 評議員会の開催状況

開催年月日	出席者数	審議内容
平成 28 年 5 月 21 日	14 名 (監事 2 名)	① 平成 27 年度事業報告 (案) について ② 平成 27 年度事業収支決算 (案) について ③ 経理規程の一部改正 (案) について ④ 入所者等預り金等管理規程の全部改正 (案) について ⑤ 役員報酬規程の一部改正 (案) について ⑥ 次期評議員の選任について
平成 28 年 6 月 1 日	15 名 (監事 1 名)	① 理事の選任について ② 監事の選任について
平成 28 年 12 月 7 日	14 名 (監事 2 名)	① 平成 28 年度収支予算補正 (案) について ② 社会福祉法人八幡福祉協会定款変更 (案) について ③ 評議員選任・解任委員会の運営に関する規程 (案) の 制定について 報告事項 ① 平成 28 年度 事業中間報告 ② 平成 28 年度 中間決算報告
平成 29 年 3 月 25 日	11 名 (監事 1 名)	① 平成 28 年度収支予算補正 (案) について ② 平成 29 年度事業計画 (案) について ③ 平成 29 年度収支予算 (案) について ④ 社会福祉法人八幡福祉協会 定款変更 (案) について ⑤ 理事の選任について ⑥ 経理規程の一部変更 (案) について ⑦ 運営規程の一部変更 (案) について

② 理事会の開催状況

開催年月日	出席者数	審議内容
平成 28 年 5 月 21 日	6 名 (監事 2 名)	① 平成 27 年度事業報告 (案) について ② 平成 27 年度事業収支決算 (案) について ③ 経理規程の一部改正 (案) について ④ 入所者等預り金等管理規程の全部改正 (案) について ⑤ 役員報酬規程の一部改正 (案) について ⑥ 次期評議員の選任について ⑦ 平成 28 年度の昇給率及び賞与支給月等 (案) について
平成 28 年 6 月 1 日	7 名 (監事 1 名)	① 理事長の選任について ② 理事長職務代理者の指名について
平成 28 年 12 月 7 日	7 名 (監事 2 名)	① 平成 28 年度収支予算補正 (案) について ② 社会福祉法人八幡福祉協会定款変更 (案) について ③ 評議員選任・解任委員会の運営に関する規程 (案) の制定について ④ 評議員選任・解任委員会の委員 (案) について
平成 29 年 1 月 25 日	6 名 (監事 2 名)	① 次期評議員の選任候補者 (案) について
平成 29 年 3 月 25 日	6 名 (監事 1 名)	① 平成 28 年度収支予算補正 (案) について ② 平成 29 年度事業計画 (案) について ③ 平成 29 年度収支予算 (案) について ④ 社会福祉法人八幡福祉協会 定款一部変更 (案) について ⑤ 社会福祉法人八幡福祉協会 定款細則 (案) について ⑥ 経理規程の一部変更 (案) について ⑦ 運営規程の一部変更 (案) について

③ 監事監査の実施状況

平成 28 年 5 月 11 日、監事 2 名による監査を実施していただきました。

その結果、事業報告書等は、関連する法令及び通知に従い、当会の事業の執行状況を正しく示し、適切に処理されていると認めていただきました。

④ 評議員選任解任委員会

平成 29 年 2 月 15 日、委員 3 名により委員会を開催し、次期評議員を選任していただきました。

その他の状況

① 衛生教育について

年 月 日	参加人数	内容
平成 29 年 9 月 20 日	20 名	内臓の病気について
平成 30 年 2 月 21 日	27 名	てんかんについて

② 施設内研修について

年 月 日	参加人数	内容
平成 29 年 9 月 20 日	20 名	人権研修
平成 29 年 11 月～ 平成 30 年 3 月	職場環境改善研修	役職員研修 1 回
		職員研修 1 グループ 10 名以内 計 8 回開催

③ 職員健康診断

年 月 日	検診内容	受診者数
平成 29 年 12 月 14 日～12 月 24 日	職員インフルエンザ予防接種	64 名
平成 29 年 10 月 18 日	職員健康診断（腰痛検診含む） ※当日未受診者は、医療機関にて実施	51 名

平成 30 年 3 月 5 日～3 月 10 日	職員健康診断（夜勤業務実施者）	26 名
平成 30 年 3 月 8 日	腰痛検診	32 名

④ 消防訓練の実施状況

年 月 日	時 間	備 考
平成 29 年 10 月 25 日	14 : 30～	昼間訓練（消防署立会い）
平成 30 年 3 月 12 日	14 : 30～	夜間訓練（想定で実施）

⑤ 研修（実習）受入状況

平成 29 年度の介護福祉士実習として、京都八幡高校介護福祉科（1～3 年生の計 7 名）、
職場体験学習として男山第 3 中学校（1 名）の実習を受け入れました。

各事業所の事業報告

施設サービス事業所

特別養護老人ホーム

介護部門

(1) 入居者一人ひとりを尊重したケアの取り組み

集団ではなく個別に対応できるように、本格的にグループケアに取り組みました。小さな集団になることで、今まで気づくことができなかった入居者のニーズを発見できるようになりました。それは、個々の排泄のタイミングであったり、入浴時の着替えを選ぶことであったりと、その人らしい生活を送る基本的なことばかりでした。今後もより深く入居者と信頼関係を築き、個々に寄り添ったケアができるよう取り組みます。

(2) 看取り介護の取り組み

今年度は介護職員への教育体制が十分とは必ずしも言えないのが実情でした。職員への精神的負担をケアする場も十分にありませんでした。看取り介護の課題は、多職種連携やインフォームドコンセントのあり方などさまざまです。その現場の最前線で活躍する介護職員のスキルアップが最重要課題であり、今後は職員の看取りに対する考え方や教育、精神的負担のケアに配慮していきます。

(3) 人材育成

職員のスキル・モチベーションアップのために、専門性のある外部研修に積極的に参加しました。特に感染症に関する研修には、介護職と看護職が共同で参加し感染症対策について学びました。また、研修で学んだことを事業所職員全員に報告及び共有し、今できることを職員全員で取り組めるようになりました。

看護部門

(1) 介護職員及び他職種との連携

職員会議等を利用し、結核の理解・酸素ポンベの交換方法・止血法等、医療に関する基礎知識の勉強会を開催しました。

(2) 感染症の予防

感染症予防のため、入居者及び職員のインフルエンザ予防接種を実施しました。

(10 ページの④に掲載)

感染症マニュアルに基づいた感染症対策を徹底しました。入居者がインフルエンザやノロウイルス等の重度な感染症を発生することはありませんでした。

(3) 褥瘡予防

嘱託医と処置方法等について相談し、早期完治に取り組みました。また、介護職と食事・水分摂取及び体位変換やクッションを使用したポジショニング等の情報を共有し、連携を図りながら褥瘡予防に取り組みました。

特養入居者等の状況

① 退所状況

年 月 日 (現在)	死亡	解約の申出	合 計
平成 29 年 3 月 31 日	19 人	4 人	23 人
平成 30 年 3 月 31 日	13 人	7 人	20 人

② 要介護度の状況

年 月 日 (現在)	要介護度					平均要介護度
	1	2	3	4	5	
平成 29 年 3 月 31 日	3 人	5 人	20 人	17 人	24 人	3.72
平成 30 年 3 月 31 日	1 人	8 人	17 人	23 人	20 人	3.76

③ 利用実績

年 度	延入居者数	一日平均入居者数	備 考
28	24,133人	66.1人	稼働率 94.5%
29	23,814人	65.2人	稼働率 93.2%

④ 入居者検診状況

年 月 日	検診内容	受診者数
平成 29 年 10 月 10 日	胸部レントゲン撮影 在館 66名	52名
平成 29 年 12 月 15 日～ 平成 29 年 12 月 21 日	入居者インフルエンザ予防接種 ※入院中の入所者については、入院 先の病院で接種されています。	名

⑤ 行事等実施状況

開催日	行事名	開催日	行事名
8月6日	夏祭り	10月29日	運動会
8月22日	花火大会	12月18日	年忘れ会
9月17日	敬老祝賀会	12月28日	もちつき大会

(介護予防) 短期入所生活介護事業所[ショートステイ]

(1) 利用者の意向を把握し個別に対応する

利用者のニーズに応じた生活を送れるように個々に応じたケアに努めました。昨年度から取り組んでいる毎日体操を日課にし、個別に頭の体操や小物作りに取り組みました。レクリエーションについては、利用者のニーズや身体状況、興味に合わせておやつ作りや運動を実施し皆さんに参加していただきました。

(2) 緊急入所

急な事情により、介護者が不在となった利用者の受け入れを積極的に行いました。市の高齢介護課と連携を図り、緊急ショート利用者1名を受け入れ、介護者の負担軽減と利用者の安全の確保に努めました。

身体障害者短期入所生活介護事業所[身障ショートステイ]

利用者の状態を十分把握し、安全で快適な生活が送れるようケアに努めました。
身体障害福祉サービス短期入所支給決定者の 1 名の方が介護者の負担軽減を目的に毎月定期的に利用されました。

ショートステイ年間利用実績（短期入所・介護予防短期入所・身障短期入所）

年 度	年 間	月平均	一日平均	稼働率
28年度	3,709人	309.1人	10.2人	72.6%
29年度	3,724人	310.3人	10.2人	72.8%

調 理 室

食事の質の向上として、今年度は「見せる」をテーマに取り組みました。ぶりの解体ショーをはじめ旬の食材である生たけのこ、あさり、うすいえんどう等を調理前に入居者・利用者の皆様に実際に手に取り、見ていただきました。入居者の皆様は料理に関する思い出話や調理法などを語り合う場面も見られ、会話が弾んでいました。

地域交流の推進として、料理教室を2回開催しました。4月は、鱈の若草焼き、豆腐の田楽、簡単白和え、豆乳プリンを作りました。4月の開催時に参加者に次回の献立についてのアンケートや教室に対する意見などを伺い、10月の開催時は、希望を反映させて、寄せ鍋風にゆうめん、菊名のお浸し、にんじんとりんごのゼリーを作りました。また、介護相談もできたらとのご意見にありましたので、調理員だけでなく、相談員も参加し適切に対応しました。

また、各事業所と協力し、八幡市のイベントである生涯学習センターの模擬店に参加しました。

(予防) 通所介護事業所[デイサービス]

28年度は、運動機能向上、維持に努めました。歩行訓練については、室内で平行棒による歩行、階段昇降、屋外での歩行訓練と利用者の身体レベルに合わせた内容で行いました。

レクリエーションの充実として、全体では、体操や手足を動かすゲームを主に行いグループでは、職員による音楽療法を取り入れました。また、個別の対応として漢字や計算等の脳トレやおやつ作りを実施しました。その他、楽器演奏やフラダンス等、地域の方々のボランティア活動も積極的に受け入れました。

毎月、デイ通信にて取り組み状況を発信し、新規利用者の獲得に努めました。

認知症ケアについては、利用者の症状に応じたケアができるよう会議等で情報を共有しました。

利用実績

年 度	要介護1~5	要支援1,2	一日平均	備 考
28年度	5,277人	546人	18.7人	
29年度	5,821人	440人	20.2人	

外出行事の状況

実 施 日	目 的	行 き 先	参加人数
4月4日~13日	花見外出(桜)	渚水未来センター	32名
11月16日~23日	紅葉外出(菖蒲)	善法律寺	25名

在宅介護支援センター事業報告

地域で開催されている「いこいのサロン」に参加し、地域住民の方々や学区福祉委員との交流を図り、地域のニーズ把握等に努めました。相談については、情報提供及び必要に応じて関係機関と連携を図り適切に対応しました。

八幡市の委託事業である「はつらつ健康教室」は、閉じこもり予防を目的としており、管理栄養士による栄養指導や楽しんで参加できる企画を開催することで参加率の向上に取り組みました。

八幡市からの委託業務の実施状況は下記の通りです。

(1) 相談業務実施状況

年 度	年 間	月平均	備考
28年度	50件	4.17件	
29年度	53件	4.42件	

(2) 高齢者の実態把握等実施状況

(件)

年 度	実態把握件数	福祉用具購入支援数	住宅改修支援数
28年度	2件	8件	21件
29年度	0件	8件	14件

(3) 配食サービスの実施状況

年 度	人数	延べ食数
28年度	241人	3,550食
29年度	249人	3,574食

(4) 介護予防事業開催状況

年 度	開催回数	利用延べ人数	1回平均人数
28年度	24回	344人	14.3人
29年度	24回	372人	15.5人

居宅介護支援事業所事業報告

新規プランについては、家族等からの依頼や病院・地域包括支援センターからの紹介を受け入れ、他事業所、他職種と連携し利用者にとって適切なサービスの調整に務めました。

介護支援専門員として専門研修及び八幡市老人福祉施設連絡協議会の開催する研修会に積極的に参加し、情報の収集や自己研鑽に努めました。

在宅介護支援センターから利用者との関わりを継続することで本人、家族の状況把握ができており、必要性が生じた時は迅速に介護サービスにつなぐことができます。

ケアプラン作成、代行申請状況

年度	ケアプラン		代行申請		備 考
	件数	月平均	件数	月平均	
28年度	658	54.8	31	2.5	更新、区分変更、新規申請
29年度	677	56.4	30	2.5	更新、区分変更、新規申請

8 評議員・理事・監事等名簿

(平成29年3月31日現在)

役職名		氏名	就任年月日	任期
理事長・施設長	評議員・理事	遠州 伸高	平成28年6月1日	平成29年5月31日
職務代理	評議員・理事	中西 久子	〃	〃
職務代理	評議員・理事	松崎 祥三	〃	〃
	評議員・理事	道本 俊規	〃	〃
	評議員・理事	本郷 俊明	〃	〃
	評議員・理事	家村 俊一郎	〃	〃
	評議員・理事	佐野 良夫	〃	〃
	評議員	寺村 紀子	〃	〃
	評議員	柴田 耕次	〃	〃
	評議員	徳田 竹司	〃	〃
	評議員	波田 容子	〃	〃
	評議員	藤作 実	〃	〃
	評議員	本田 みち代	〃	〃
	評議員	山本 政名	〃	〃
	評議員	遊佐 勝彦	〃	〃
	監事	北村 章	〃	〃
	監事	大高 俊生	〃	〃

苦情解決第三者委員	藤本 幸子	
〃	北村 章	